

2020年度 第2回 看護・介護部会研修会レポート

記載者：介護老人保健施設アユス 介護福祉士 永下 泰士

<日 時> 2020年2月12日(水) 13:30~16:30

<会 場> 山口県セミナーパーク

<テーマ> 最後まで口から食べる～摂食嚥下障害に対する食事介助～

<内 容>

13:30~16:30 はじめよう口腔ケア～高齢者の基本的な口腔ケアについて～

講師：番野 比呂子(特別養護老人ホーム 梅光苑 歯科衛生士)

最後まで口から食べる～摂食嚥下障害に対する食事介助～

講師：菅原 崇広(老人保健施設 あいあい山口 言語聴覚士)

・はじめよう口腔ケア～高齢者の基本的な口腔ケアについて～

要介護高齢者の日常生活における楽しみなこと1位は食事である。食事を楽しく美味しく食べるためには、正しい口腔ケアを行い口の中を清潔にすることが大切である。①口腔ケアとは②口腔内の関連器官の構造③口腔にみられる症状と関連する疾病④口腔ケアの実際について学んだ。口腔ケア用品・口腔ケアの方法では汚れが付着しやすい場所や清掃方法を理解することでより良いケアになることを動画を交えて学び解りやすかった。正しいケアでいつまでもきれいな口腔が保たれ、体と心の健康につながると考える。



・最後まで口から食べる～摂食嚥下障害に対する食事介助～

摂食嚥下障害は①認知期の段階②捕食の段階③準備期の段階④口腔期の段階⑤咽頭・食道期の段階があり、その段階による症状と観察項目を学んだ。嚥下障害の対策では①食形態の選択②ポジショニング、介助方法③リハビリテーションを学び、研修生全員でゼリーの試食を行い、ゼリーの大きさで飲み込みの違いを強く感じ、咀嚼のできない利用者の気持ちを体感することができた。ポジショニング、介助方法ではリクライニング車椅子を使用し角度やクッションの使用方法等のデモンストレーションを行い、すぐに現場で実施できる方法であった。専門の講師から研修を受けることで、知識・経験が増えより質の高いケアにつながると考える。

